

鳥越啓介

contrabass

大谷訓史

contrabass

2019 04月21日(日)

開場 14:30
開演 15:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 2800 円+2drinks order

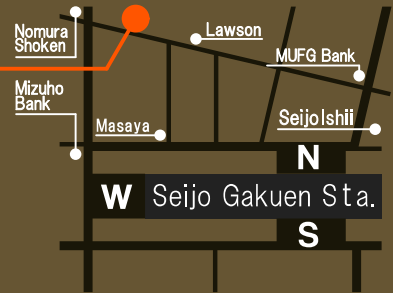
CAFE **B**EULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



鳥越啓介

岡山県玉野市生まれ。高校時代、吹奏楽部に入学しコントラバスを弾き始める。高校卒業後、社会人の傍ら地元のピックバンドなどで活動。96年脱サラ、97年上京。99年PHATのメンバーとなり、2001年東芝EMI Blue Noteレーベルよりメジャーデビュー。シングル1枚、アルバム2枚を残し、2003年渋谷クラブクアトロでのワンマンライブを最後に解散。その後は、ジャズ・邦楽・ポップス・タンゴ・ブラジル音楽などその豊かな才能を駆使し、国内のみならず海外公演も含め、自らのバンドを展開し、また様々なセッションやレコーディングに参加。繊細且つ大胆でハーモニーを感じさせるその演奏は、コントラバスという楽器の固定概念に捉われず、独奏楽器としての更なる可能性を追い求め、幅広い音楽活動を行っている。9月に初のDUOアルバム「木魂」が発売され、益々注目されるユニットとなっている。

大谷訓史

1982年大阪府出身。14歳でエレキベースを始め、17歳から大阪で演奏活動を開始。大阪音楽大学短期大学ジャズコース入学と同時にジャズでの演奏活動を始める。2005年横浜ジャズプロムナードコンペティションで西山瞳トリオでグランプリを受賞。その後10年間関西での活動の後上京。上京後は、矢吹卓クインテット、國田大輔トリオなど主にコンテンポラリージャズのセッションなどに参加。現在は、変拍子の新しい可能性を追求した自身のバンドparagramme theaterの他ayaki.ucc trio.鬼怒無月トリオ、等でも活動中。3フィンガーを駆使した独自のプレイスタイルでベースの可能性を追求する。また作曲家やトラックメーカーとして様々なアーティストの楽曲のアレンジ等も手掛けるマルチプレイヤーでもある。